

新西部工場（仮称）整備事業 官民対話の実施結果

No	資料名	議題	該当箇所				質問	回答
			頁	第	数	(数)		
1	要求水準書	建設発生土の処分	49	第2章 第10節	6	(2)	「本工事で発生した掘削土は、発生量の抑制、資源の有効利用に努めること。やむを得ず処分する場合は、市の承諾を得たうえで福岡市認定施設にて適正に処分すること」とありますが、以下の内容について、確認させてください。 ①HPに掲載されている認定施設等一覧表には、指定処分場と建設発生土リサイクルプラントの2つに区分されていますが、区分に関わらず処分可能と考えてよろしいでしょうか。 ②福岡市認定施設ではない施設での発生土処分は不可であるという理解でよろしいでしょうか。 ③各施設の受入可能容量、処分単価等の情報提供は可能でしょうか。	①ご理解のとおりです。 ②建設発生土処分先については、福岡市認定施設としておりますが、やむを得ない場合のみ、他施設での処分について協議可能とします。要求水準書の記載を修正します。 ③各施設における受入可能容量、処分単価等の情報につきましては、受入先事業者個別の事業内容に係る事項となりますので、お答えできません。
2	要求水準書	工事用車両の搬入・搬出経路	49	第2章 第10節	6	(5)	工事車両を一時的に待機させる場所として、門扉南東側の本施設内のスペースを借用させていただくことは可能でしょうか。	施設管理者との協議のうえ承諾が得られた場合は、可とします。
3	要求水準書	灰積出ホッパ	111	第3章 第8節	11		灰積出ホッパについて、灰をホッパ内に一時貯留する機能を設ける必要はありますでしょうか。また、第1回質問回答にて、故障した場合の代替手段についてご指示頂いていますが、想定されている故障事例等があればご教示願います。	一時貯留する機能は必要と考えており、一時貯留容量としては10tトラック1台分を想定しています。要求水準書を修正します。 故障事例として、灰の閉塞（ブリッジやラットホール）、ホッパ開閉部の故障、計器類の故障などを想定しています。
4	要求水準書	灰積出ホッパ	112	第3章 第8節	11	(1)	灰積出ホッパの指定がありますが、より運用メリットのある積み込み方法を検討したうえで、ホッパの有無を事業者提案とさせていただけないでしょうか。 また、ホッパが必要な場合、一時貯留する機能は必要でしょうか。	灰積出ホッパについて、灰搬出作業の効率化および安定的な灰の飛散抑制の観点から、必要と考えております。また、一時貯留する機能も必要と考えていますので、要求水準書を修正します。

No	資料名	議題	該当箇所				質問	回答
			頁	第	数	(数)		
5	要求水準書	上水受水槽、生活用水受水槽	113	第3章 第9節	1	(6)	現地見学会にて、敷地北側(共同溝を通り抜けた外側)にて上水受水槽と上水供給ポンプを確認しました。この受水槽およびポンプは、本事業の範囲内で更新するとの認識でよろしいでしょうか。 また、上記の認識が正しい場合、本事業にて設置する上水受水槽・生活用水受水槽の容量に、敷地北側(共同溝を通り抜けた外側)に設置される受水槽も含まれるとの認識でよろしいでしょうか。 その他、参考までに工場前道路の水道本管の圧力を教えていただけないでしょうか。	当該設備は、現工場の上水受水槽および上水供給ポンプであるため、撤去は本事業の対象ではありませんが、新工場の上水受水槽および上水供給ポンプの新設は本事業の対象となります。なお、生活用水受水槽の容量について、原案のとおり単独で「通常運転時の7日間分」とします。 工場前道路の水道本管の圧力は測定しておりません。水道本管の圧力については、福岡市給水装置工事施工基準に基づき、配水管最小動水圧0.20MPaで計画してください。
6	要求水準書	非常用発電機	126	第3章 第11節	10	(3)	「～、②災害発生時に電力会社の母線が停電になっても、稼働中の焼却炉を正常に停止でき、全炉停止後に非常用発電設備により1炉の立上げを可能とすること。1炉立上げ後は、蒸気タービン発電設備により全炉立上げをし、電力が不足する場合は、非常用発電設備を稼働すること。 ③②が可能となるような発電能力及び液体燃料貯留量とすること。」 について非常用発電設備は、都市ガスと液体燃料を使用するようご指定がありますが、②が可能となるような液体燃料貯留量の算定は、都市ガスの供給が無いことを前提としたものと考えればよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
7	要求水準書	非常用発電機	126	第3章 第11節	10	(3)	「～、③②が可能となるような発電能力及び液体燃料貯留量とすること。」とありますが、 ②が可能となるような液体燃料貯留量は、「災害時(停電状態)の焼却炉3炉立下げ」と「焼却炉1炉立上げ」に必要な量をそれぞれ単独で計上し、それらを足し合わせた容量とすればよいでしょうか。	電力会社の母線が停電となった際に、稼働中の焼却炉3炉を立下げ、全炉停止状態とし、その後1炉ずつ立上げ、3炉運転とするまでに稼働が必要な非常用発電設備の運転時間から、容量を算出してください。

No	資料名	議題	該当箇所				質問	回答
			頁	第	数	(数)		
8	要求水準書	内部仕上げ	148	第4章 第2節	4	(6)	「見学者通路及び見学者ホールの壁、床、天井の合計面積(ガラス開口部除)の20%以上を木質化すること」とのご指示ですが、以下の内容について、確認させてください。 ①表4.2.3内部仕上げ表(参考)の中で、見学者通路・ホールの床材は「長尺塩ビシート」とありますが、床材の木質化の採用は可能でしょうか。 ②同天井材に「杉又は桧小幅板t15の上OS塗り(不燃)」とありますが、天然木の反りや劣化への懸念と軽量化の観点から、不燃基材の上に天然木突板を積層した天井材での提案も可能でしょうか。	①、②どちらも可とします。 表4.2.3内部仕上げ表(参考)の記載は参考であり、仕上げの材料、仕様等を拘束するものではありませんが、使用期間中におけるメンテナンス性等維持管理の観点にもご配慮ください。
9	要求水準書	仮設計量設備	179	第6章 第1節	1		「入場時と退場時の2回計量を行うことに配慮すること」とありますが、仮設計量棟は入口側、出口側とも対面による受付業務が必要でしょうか。	手動計量を行う必要のある搬入者もいるため、入口・出口とも対面による受付業務が必要となります。
10	要求水準書	新工場建設用地	添付 資料3				建設用地図にてご指示頂いている新工場建設用地の西部資源化センターと焼却処理棟の間の境界線について、対話にて境界線の位置を確認させてください。	現状の西部資源化センター解体工事と同等となるように5.0m以上を確保することを原則とします。施工上やむを得ない場合については、代替ルートを確認のうえ、現西部工場の運用(オーバーホール等のメンテナンスルートを含む)に支障のない計画としてください。
11	様式集	維持管理の効率性	様式 6-8				記載内容に「メンテナンスや設備更新など維持管理の効率性向上に関する計画・設計の考え方 など」とありますが、定期修理や設備更新工事の作業員だけでなく、運転作業者も含むという認識でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。

No	資料名	議題	該当箇所				質問	回答
			頁	第	数	(数)		
12	様式集	水素利用	様式 6-13				以下の内容について、確認させてください。 ①オンサイトでの水素製造に必要となる“原料”の想定がありましたら、ご教示願います。また、外部調達した原料(例えばメタン)からオンサイトで水素を製造する際に、副産物として発生するCO2も排出係数(kg-CO2e/kg-H2)に含むと理解してよろしいでしょうか。 ②場内の水を用いて水素を製造する場合の排出係数(kg-CO2e/kg-H2)の考え方についてもご教示願います。	①水素製造の原料として、一般的な原料である水やメタンガスを想定しています。 また、CO2排出係数に関して、ご理解のとおりです。 ②水素製造の原料として、施設内の水を使用する場合のCO2排出係数の考え方は以下のとおりです。 ・上水:0.002kg-CO2/m3 ・再利用水:再利用水製造にかかるCO2排出量は計上せず、水素製造のために追加的に発生する処理工程(純水化・脱塩等の前処理)に係るCO2排出量のみを計上対象としてください。
13	様式集	技術導入を考慮した施設配置計画	様式 6-14				市が別途発注するペロブスカイト太陽光電池やCO2回収設備について、前回の公告時から状況が進展し、配慮すべき点がございましたら、確認させてください。	特にありません。
14	設計・施工一括契約書(案)	中東情勢等					中東情勢等の影響による、想定外の価格高騰と納期遅延を懸念しています。 「契約書 別紙5 工事費の変更方法」に記載の方法で工事費を見直していただくことに加え、工期の延長や別紙5の方法では賄いきれない一時的で多額の価格変動が生じた際などは、別途協議の場を設けていただきたいと考えています。現時点における貴市の考え方について、確認させてください。	工事費の見直しについては、原則として別紙5「工事費の変更方法」に基づき対応するものと考えています。 また、工期についても、受注者の責めに帰すことができない事由により履行が困難となった場合には、契約書の定めに基づき、必要に応じて協議のうえ適切に対応します。 なお、ご質問のような想定外の大幅な価格変動や納期遅延等が生じた場合については、個別の状況を踏まえ、契約書の規定に従い、双方で協議のうえ対応を検討します。

No	資料名	議題	該当箇所				質問	回答
			頁	第	数	(数)		
15	有効な質問回答	工期	15	No.59			「現工場の受入を令和14年10月頃から停止することを想定していることから、新工場でのごみの受入については、同時期に開始できるように計画してください」とありますが、試運転開始時期に影響があるため、10月のいつ頃と設定すればよいかご教示願います。	試運転開始時期については、契約後に協議により決定することとし、各社必要な試運転期間を提案してください。
16	有効な質問回答	外部施設へ電力供給	28	No.124			共同溝を使用しない場合の外部施設への電力供給経路について、「現在埋設している箇所は、原則として埋設とします」とありますが、3Rステーション・100プラザ西への電力供給ルートの一部が水路下となり、掘削・埋設が困難なため、一部を架空としてもよろしいでしょうか。	原則として埋設とします。ただし、水路下等の制約により埋設が著しく困難な場合については、安全性、維持管理性及び景観への影響を十分に配慮することを条件とした上で、必要最小限の範囲のみ架空方式を認めます。
17	有効な質問回答	共通事項	32	No.147, No.148			閲覧資料「既設ケーブルの配線経路図(参考)」において、更新するケーブルルートと径が示されておりますが、現在埋設されている範囲および埋設配管の仕様(予備配管の有無を含む)が分かる資料を提供いただけないでしょうか。	閲覧等資料に追加します。なお、当該資料は参考資料として取り扱ってください。